

令和5年度 横浜市立四季の森小学校 学校だより

このまちに生き、共に輝く子



四季の森



7月号

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shikinomori/>

水泳学習について

学校長 森脇 信行



3月生まれのアホロートル
体長4cmになりました。

梅雨の晴れ間、プールから子どもたちの歓声が聞こえてきます。本校では7月の体育の学習は、主に水泳の学習を行って参ります。感染症対策のため2年間取り組むことができなかった学習のため、遅れが見られますが、昨年から復活し、今年からは少しずつ本来の目標に近づくことができるように工夫してまいります。

本校の水泳学習は、子どもたちが安全に気をつけて、水泳の楽しさや喜びを求めて、進んで学習しようとすることを基本としています。そこで、低学年では「水遊び」を中心に水に慣れるということ、中学年では「もぐる、浮く運動」を中心として、浮いて進む運動ができるようになることをねらいとしています。こうして中学年までに水に慣れ親しむことや、自分の体が水の中で浮くという感覚を味わい、水に浮く・泳ぐという経験をたくさんさせたいと考えております。そして、高学年ではその経験を生かしてクロールや平泳ぎなど、「続けて長く泳ぐこと」に取り組みます。また、自分にあつたためあての実現に向けてボディ学習で取り組んでいきます。子どもたちには、水泳学習を通して、技能の向上とともに、友達との関わりが深まった経験ができる事を願っています。しかし、水は危険なものであることも忘れてはいけません。学校の水泳指導では、安全を一番に据えて指導を行っていますが、夏は水辺でのスポーツやレジャー活動に参加する機会が多くなります。この学習を通して、命を大切にすることを学ぶ機会であると考えます。9月のプール納めで今年の夏は水泳が楽しかったという子どもたちの声が聞こえてくることを願っています。

さて、7月21日からは子どもたちにとって楽しみな夏休みが始まります。夏休みは、今までの学習や生活を見つめ直し、志を新たにし、次に備える絶好のチャンスです。ぜひ、有意義な夏休みにしていただければと思います。これまでに身につけてきた規則正しい生活のリズムを大切に維持し、夏休みの経験がその後の学校生活をさらに充実させるきっかけや原動力になりますよう願っております。